

# アーティストと銀行のかかわり

銀行のはたらき〈住宅ローン等〉〈外国為替〉〈金融〉のはなし

1 アーティストはますます  
人気が出て、DVDは売れ、  
連日TVにも登場。



2 音楽スタジオ付きの自宅を購入!



3 人気上昇  
海外デビュー決定



4 自分の音楽を追求するため、  
音楽制作会社を  
立ち上げることになる。



5 みんなのおかげで  
夢が叶ったよ!  
ありがとう!!



あなたの大好きなアーティストは、DVDが大ヒットしてさまざまな夢を実現していきます。そしてついに海外デビューが決まりました。海外でもその実力が認められ、さらに人気は上昇! 長年の夢であった自分の音楽制作会社を立ち上げます。みなさんも将来の夢の実現のために、お金や金融のしくみについての知識が必要となるときがあるはずです。さて、どんなことを知っておくとよいのでしょうか?

## この章に登場するキーワードをCheck!

- **金融**…お金を余っているところから必要としているところへ融通すること。
- **金融機関**…資金に余裕がある企業・個人と資金を必要とする企業・個人との間に立って、その貸し借りの仲立ちをする機関。
- **株式**…株式会社に出資したという証拠になるもので、以前は株券という紙が発行されていたが、現在は原則コンピュータ上のデータになっている。
- **外国為替**…為替(P.5参照)のうち、別の国にいる者どうしで行うこと。
- **間接金融**…銀行が間に入って、個人等から預金として預けられたお金が間接的に企業等に融通されること。
- **直接金融**…個人等が株式や債券を購入することにより、その株式等を発行した企業等に直接資金が融通されること。

住宅ローン等のはなし



銀行からお金を借りるときに大事なことはなんだろう？

# お金を借りるには 信用がカギ

アーティストはDVDの印税として得た収入をもとに、スタジオ付きの自宅を購入したのですが、その際足りなかったお金を銀行から借りました。このとき、たくさんの書類による審査がありました。

土地や住宅、マンション購入など、数千万円、数億円単位のお金が必要になった場合、銀行から借りること(ローンという)ができます。ただし、だれでも借りることができるわけではありません。銀行は、みなさんの大切な預金を貸し出すので、慎重に審査を行います。ローンは、夢の実現など、生活を豊かにしてくれますが、利子を合わせて合計でいくら返済する必要があるのかや、1回あたりの返済額はいくらになるのかなどをきちんと把握し、現実的な返済計画を立てていかなければなりません。

貸出の審査基準

個人の場合・・・

新しい家を購入したい!  
(住宅ローン)

収入は？

返済計画は立っている？

資産※はある？

お金を貸してください。

※資産とは・・・個人または企業(法人)の所有する金銭・土地・建物などの総称。

たとえば  
企業の場合・・・

業績や将来性、  
公共性なども  
審査基準となります。

収入などに応じて返済できる範囲でローンを組むことが大切なね。

お金を借りる際のルールは、

①返済計画に無理がないかを確認する  
②借金返済のためには利用しない③約束どおりに返済!

無理のないしっかりした計画が必要です。

コラム たじゅうさいむ 多重債務に注意!

お金を借りるときは、無理のない返済計画を立てないと、返済ができなくなってしまいます。自分の収入から返済できなくなったとき、借りたお金を返すために、また別のところからお金を借りる...これを繰り返していると、利子がどんどんふくらんでいき、返済が困難になってしまいます。このような状態を「多重債務」といい、社会問題にもなっています。





外国為替のはなし



外国で買い物をするとき、お金の価値が変わるってどういうこと？

# 国際社会で日々変化するお金の価値

アーティストの海外デビューが決定！アメリカの音楽会社との契約金は10万ドルです。半年前に契約したときは、10万ドルを日本円にすると1,000万円と聞いていたのに、半年後の今日、円で受け取ってみると振り込まれた金額は800万円。なぜこのようなことが起こるのでしょうか？

振込金額が違ったのは、契約時と振込日で円の価値が変わったからです。契約時1ドル=100円だったのが、振込日には円高になり、1ドル=80円になっていました。海外との取引や旅行の際に、銀行でその国の通貨に交換しますよね。この交換比率を「外国為替相場」といいます。外国為替相場は外国為替市場\*でお金売買されることで決まり、日本円を欲しい人が増えて円が買われると円の価値が高まり(円高)、逆に円が売られると円の価値が下がります(円安)。円の価値が変わると、海外製品の値段が変わったり、輸出製品の売れゆきが変わるなど、生活や企業活動にも大きな影響があります。このように、外国通貨の両替(外貨両替)や貿易代金のやりとりなど、銀行が海外とのお金の橋渡しを行うことを「外国為替業務」といいます。

\*外国為替市場とは…外国通貨の売買を行う市場。世界中の銀行などが電話やコンピュータを通じて取引している。世界の三大外国為替市場は、ロンドン、ニューヨーク、東京。

毎日変わるお金の価値～円高・円安～

アーティストが100万円をもってアメリカに行った場合を考えてみましょう。

今日  
1ドル = 100円

明日もしも  
**円高**になると…

100万円は  
**10,000ドル**に  
両替できた

そして  
**10,000ドル**の  
ギターが買えた!

1ドル = 80円

100万円は  
**12,500ドル**に  
両替できた

10,000ドル  
2,500ドル

10,000ドルのギターを買ってもまだ2,500ドル残ったよ!

明日もしも  
**円安**になると…

1ドル = 120円

100万円は  
**8,300ドル**に  
両替できた

約8,300ドル

欲しかったギターを買うにはお金が足りなかった。

海外では円高のときに買い物がするのがお得なんだ!

外国為替業務は通貨が異なる国や地域と取引するのに大切な業務です。毎日変わる円の価値は、生活や企業の活動にも大きな影響を与えます。

両替するときは「外国為替相場」を意識してくださいね。



間接金融・直接金融のはなし



会社をつくる資金、借りる以外の方法はある？

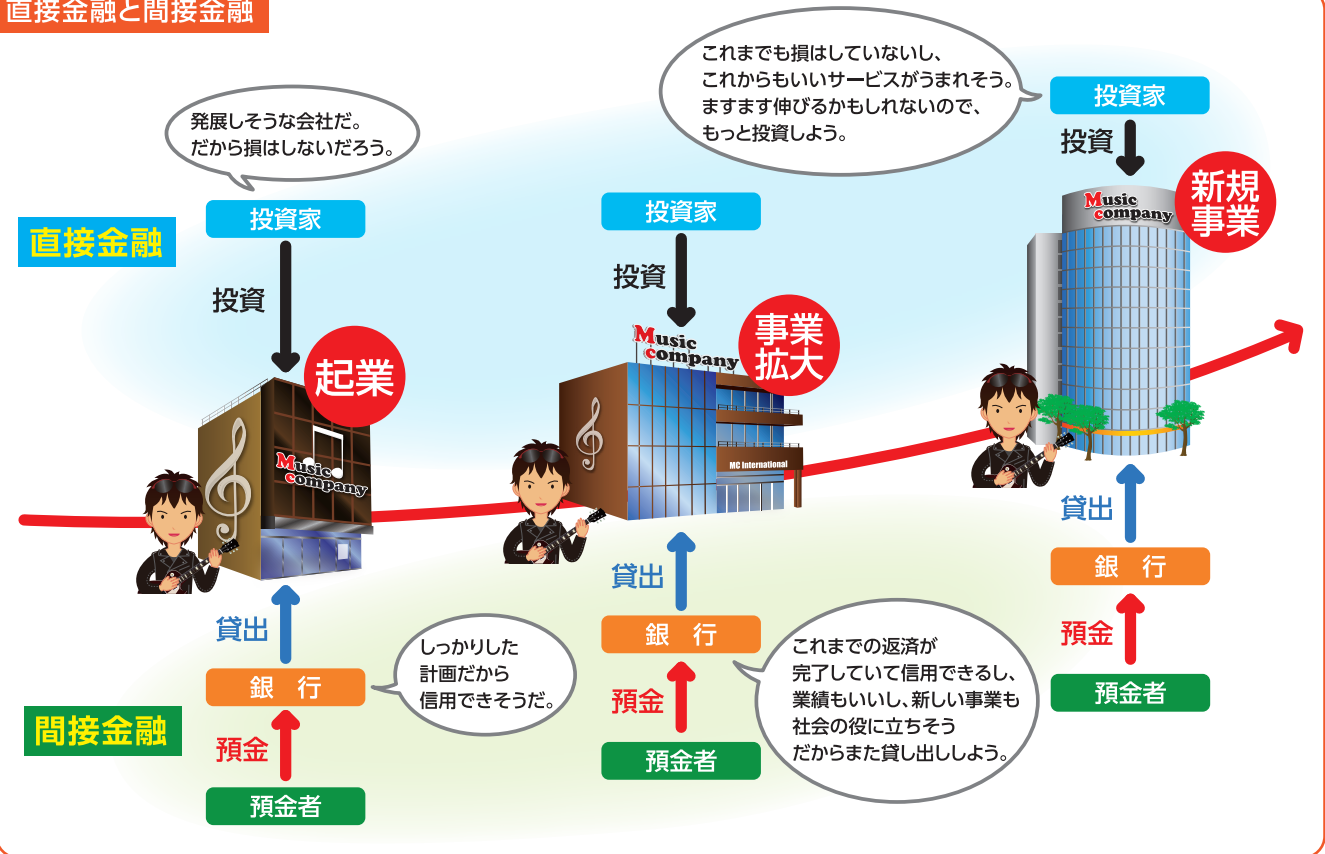
# 資金を調達するいろいろな方法

アメリカデビュー後も順調なアーティスト。ほかのアーティストをデビューさせるために、自分の制作会社を作る(起業)ことにしました。起業するときも、事業を拡大するときも、まとまった資金が必要になります。銀行から借りる以外に資金を手に入れる方法はあるのでしょうか？

企業が資金を調達する方法には大きく二つあります。一つは銀行などの金融機関から貸し出しを受ける方法で、個人などが銀行に預けたお金を、銀行をとおして間接的に借りるので「**間接金融**」といいます。もうひとつは、**株式**\*などを発行して、株式などを買う個人などから直接お金を集める方法で「**直接金融**」といいます。お金を出す側の立場で考えると、間接金融では貸したお金が返ってこない場合のリスクは銀行が負いますが、直接金融ではお金が返ってこない場合のリスクは投資した個人などが負うことになります。

\*株式をもつということは、その株式分だけ会社の持ち主になったということ。会社が成長すれば配当金のほかに、株式の価値が上がることで株式の売買益を得られる。逆の場合は損をする。

## 直接金融と間接金融



将来は投資する立場にもなるかも…。

間接金融は銀行の信用、  
直接金融は会社の信用がなければ成り立ちません。

お金を投資するのも預けるのもメリット・デメリットを考えて！

## まとめ

あなたは銀行とはあまりかかわりがなかったと思っていなかったか？  
しかし、これまでみてきたように、DVDの代金を支払うとき、  
会社がDVDなどの製品を作るとき、あなたの大好きなアーティストが夢を実現するときなど  
さまざまな場面であなたの生活は銀行とかかわっているのです。

